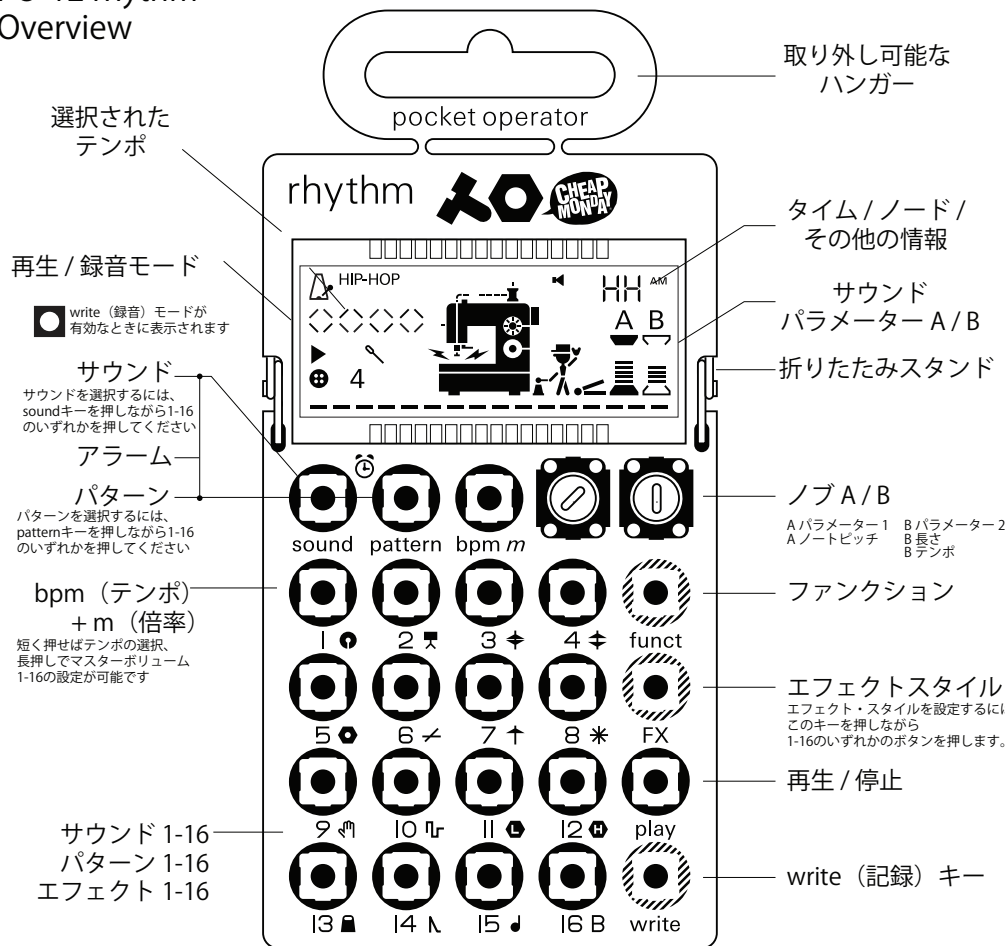


# PO-12 rhythm Overview



自動電源オフ (a.p.o = auto power off)  
 一定時間ボタン操作が行われなかった場合、  
 本体の電源が自動的に切られ、  
 ディスプレイで時間を表示するだけのモードに切り替わります。  
 sound + bpm ボタンを押すと、電池の状態を確認できます。

## サウンド 1-16

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. バスドラム       | 9. ハンドクラップ |
| 2. スネアドラム      | 10. クリック   |
| 3. クローズド・ハイハット | 11. ロータム   |
| 4. オープン・ハイハット  | 12. ハイタム   |
| 5. シンセ・スネア     | 13. カウベル   |
| 6. スティック       | 14. ブリップ音  |
| 7. シンバル        | 15. トーン    |
| 8. ノイズ         | 16. 低音トーン  |

## エフェクト 1-16

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 低サンプルレート   | 9. スタッター 3     |
| 2. ディストーション   | 10. スタッター 8    |
| 3. ビットクラッシュ   | 11. リビート 8     |
| 4. ディレイ       | 12. リビート 6     |
| 5. ローパス・フィルター | 13. 音符のシャッフル   |
| 6. ローパス・スウィープ | 14. フィードバック    |
| 7. ハイパス・フィルター | 15. パラメーター-LFO |
| 8. ハイパス・スウィープ | 16. ピブラート      |

# PO-12 rhythm Manual

## ユーザーズマニュアル

### 1. 使ってみましょう

**電池**  
 2本の単4電池を入れます。  
 極性のプラスとマイナスにご注意下さい。

**時刻設定**  
 ノブAを回して時間単位、  
 ノブBを回して分単位での時刻設定を行います。  
 (アラームを解除するには、ノブAを一番下  
 まで下げます)

**アラーム**  
 sound + pattern ボタンを押します。  
 時刻設定と同様にノブAで時間単位、  
 ノブBで分単位のアラーム時刻を設定します。  
 (アラームを解除するには、ノブAを一番下  
 まで下げます)  
 1-16のいずれかのボタンを押すと、  
 アラームのサウンドを設定できます。

**時刻のリセット**  
 時刻設定をリセットして初めからやり直す  
 には、一度電池を抜いて入れ直します。

### 2. 再生

**パターンの選択**  
 pattern キーを押したまま  
 キー1-16のいずれかを押しせば、  
 パターンを選択できます。  
 選択中のパターンに該当する  
 LEDが点滅します。

**play キー**  
 play キーを押して再生を開始します。  
 もう一度play キーを押すと  
 再生を停止します。

**シーケンサー**  
 1つのパターンは  
 16ステップで構成されます。

### 3. ビートを作る

**サウンドの選択**  
 sound キーを押しながら  
 1-16のいずれかのキーを押して、  
 サウンドを選択します。

**シーケンスパターンの作成**  
 write キーを押します。  
 write (録音) モードのインジケーターが  
 がスクリーン上に表示されます。  
 サウンド / 音符をグリッド上に入力します。  
 play ボタンを押すと、作成したパターンを  
 再生できます。

### 4. サウンドの調整

**エフェクトの追加**  
 再生中にエフェクトをパンチンするには、  
 FX キーを押しながら1-16のいずれかの  
 ボタンを押します。  
 他のキーを押さずにFXキーを押し続けると、  
 エフェクトが消去されます。

### パラメーターの固定

write キーを押したままノブA  
 またはBを回すと、それに応じて  
 サウンドのパラメーターが  
 徐々に変化します。

### 5. スウィング

bpm キーを押しながらノブAを回すと、  
 スウィングの度合いを設定できます。

### 6. テンポ

bpm キーを押すと、テンポを変更できます。  
 テンポはディスプレイ右上に表示されます。  
 HIP HOP (80 bpm)  
 DISCO (120 bpm)  
 TECHNO (140 bpm)

テンポを微調整するには、bpm キーを押し  
 ながらノブBを回します。(60~206 bpm)

### 7. ボリューム

マスターボリュームを設定するには、  
 bpm キーを押しながら1~16のいずれかの  
 ボタンを押します。

### 8. ライブレコーディング

再生中にwrite キーを押しながら1-16の  
 いずれかのボタンを押すと、音符を  
 パンチンで追加できます。  
 入力した音符はスウィング設定に応じて  
 クオンタイズされます。  
 パンチン操作が完了したら、  
 write キーを離します。

### 9. ステップ・マルチプレイヤー

bpm キーを押しながら1-16のいずれかの  
 ボタンを押し続けると、押ししている間は  
 ステップに繰り返して入力されます。  
 bpm キーを複数回押すと、2, 4, 8, 16の  
 倍率設定を切り替えられます。

### 10. ソングの作成

**パターンのコピー**  
 write + pattern キーを押すと、現在選択  
 されているパターンがメモリー内にコピー  
 されます。write + pattern キーを押した  
 ままの状態1-16のいずれかのボタンを  
 押しすと、現在選択されているパターンが  
 新しいスロットに複製されます。

### パターンの消去

funct キー + pattern キーを押すと、現在  
 選択されているパターンが消去されます。

### パターンのチェイン

パターンをチェイン (連結) するには、  
 pattern キーを押しながら、連結したい  
 パターンが記録されている1-16のいずれかの  
 ボタンを押します。最大16個のパターンを  
 チェインできます。ひとつのパターンを  
 繰り返して選択することも可能です。  
 例えば、1, 1, 1, 4とチェイン入力すると、  
 パターン1を3回再生してからパターン4を  
 1回再生します。その後、チェイン全体が  
 初めから繰り返して再生されます。

### 11. 複数ユニットのシンク (同期)

複数のポケット・オペレーターを同期させる  
 には、ラインインとラインアウトでクリック  
 トラックを共有します。  
 市販のステレオ・オーディオケーブルを  
 使用して、複数のユニットを接続します。  
 マスター側のユニットがスレーブ側の  
 ユニットのテンポをコントロールする  
 ように動作します。  
 マスター側のユニットのプレイスタイル・  
 キー + bpm キーを押すと、シンクモードを  
 切り替えることができます。この操作を  
 繰り返して行うことで、ディスプレイ右上  
 に表示されている異なるシンクモードへの  
 切り替えが可能です。  
 スレーブ側のユニットで再生ボタンを押し、  
 マスター側のユニットからのクロック信号を  
 待ちます。マスター側のユニットの再生  
 ボタンを押すと開始されます。

### シンクモード

5つのシンクモードがあり、デフォルト設定  
 はSY0です。シンク信号とオーディオ信号を  
 同時に送信または受信する場合、信号は  
 オーディオ信号 (右チャンネル) とシンク  
 信号 (左チャンネル) とに分けられます。

### シンクのシナリオ

**例A**  
 chain: PO-12→PO-14→PO-16  
 setting: SY1 SY5 SY4

**例B**  
 chain: ext. → PO-12  
 setting: volca SY2  
 iphone  
 computer  
 synckontrol

**例C**  
 chain: ext. → PO-12 → PO-14  
 setting: SY3 SY4

**例D**  
 chain: PO-12 → ext. (スプリットケーブル)  
 setting: SY1

ext.: 外部デバイス